

清水裕友が6連覇に邁進

防府競輪場開設74周年記念「周防国府杯争奪戦in玉野」は、11月2日～5日の日程で開催される。防府競輪場が施設整備中のため、今年は玉野競輪場に於いて行われる。今シリーズは古性優作、松浦悠士、郡司浩平、新山響平、守澤太志のSS班5名が参戦する超豪華メンバー。しかしながら、最も注目を集めるのは地元の清水裕友だ。この大会は目下5連覇を達成している。果たして大記録をさらに伸ばすのか？

地元記念では圧倒的な存在感を示している清水裕友。69周年～73周年まで、目下のところ5連覇を達成していて、4日制の記念開催では前人未到大記録だ。現在は防府競輪場がリニューアル工事中のため、今年の舞台となるのは玉野競輪場だが、これが清水の



清水裕友

評価を下げる要因にはなるまい。今年はSS班の座を明け渡したものの、ダービーで準V、オールスターと共同通信社杯は決勝に乗っていて、今年の獲得賞金ランキングは第6位。グランプリ2023出場が有力な位置に付けており、地力そのものは落ちていない。強豪がずらりとそろったが、盟友の松浦悠士をはじめスピードスター・犬伏湧也、地元の重鎮・桑原大志と中四国勢は戦力が整っている。自己の記録を更新し、

地元ファンの期待に応えるつもりで中心視した。松浦もグランプリ2023出場に向けて視界は良好。今年はウィナーズカップ、サマーナイトとG2で2Vを飾っている。オールスターで落車して2場所を欠場したが、復帰戦の10月熊本記念in久留米は③①④①着、寛仁親王牌では日競選理事長杯2着でローズカップにコマを進めていて、着実に調子を戻している印象がある。清水の引き立て役だけにはとどまらない。中四国勢の先陣を受け持つのは犬伏だ。今年はダービー、オールスター、寛仁親王牌で決勝に乗っていて、自慢のスピードには一段と磨きがかかった。異次元ダッシュで繰り出す仕掛けに後続も付け切れれば流れは中四国勢だ。

昨年引き続き全日本選抜・高松宮記念杯を連覇した古性優作は、更に迫力を増した感がある。昨年は25%だった勝率が今年は5割を超え、寛仁親王牌の完全Vで獲得賞金は2億円を超えた。その寛仁親王牌は連日流れも向いたが、決勝は本人も納得の仕上がり。状態を維持なら層の厚い中四国勢も粉砕しよう。稲川翔、村上博幸が古性を盛り立てる。



古性優作



郡司浩平

動きが良くなってきた郡司浩平も有力な優勝候補。オールスターから一息不足の場所が続いたが、9月松阪記念①③①着、10月熊本記念in久留米②①①③着と立て直しに成功。寛仁親王牌の走りも悪くなかった。ここは南関の自力型が少ないが、先頭で戦ってもまったく不安はない。

新山響平、守澤太志の北日本勢も好勝負が見込める。今年はまだ優勝には手が届いていない新山だが、スケールの大きな競走で別線を沈黙させていて、調子は申し分ない。9月立川記念から10月熊本記念in久留米まで、4場所続けて決勝に乗っていて、寛仁親王牌は準決4着と惜敗も持ち前の機動力は光っていた。主導権さえ握れば簡単にはまくらせない。守澤の手厚い援護は、新山にとって心強い。ダービーでは特選、ゴールデンレーサー賞でワンツーを決めている。これも北日本コンビでの連独占は考えておきたい。

周防国府杯争奪戦 出場予定選手

※2023年10月23日現在のデータです。

級班	氏 名	登録地	期別	競走得点	級班	氏 名	登録地	期別	競走得点	級班	氏 名	登録地	期別	競走得点	級班	氏 名	登録地	期別	競走得点	級班	氏 名	登録地	期別	競走得点
SS	守澤太志	秋田	96 期	114.40	S1	櫻井正孝	宮城	100 期	106.66	S2	館泰守	愛知	80 期	97.15	S2	宿口潤平	埼玉	91 期	102.76	S2	久保田泰弘	山口	111 期	108.00
SS	松浦悠士	広島	98 期	116.19	S1	高久保雄介	京都	100 期	107.22	S2	吉村和之	岐阜	80 期	92.58	S2	坂本匡洋	大阪	91 期	94.11	S2	川口雄太	徳島	111 期	101.42
SS	郡司浩平	神奈川	99 期	114.74	S1	吉澤純平	茨城	101 期	107.35	S2	國村洋	山口	80 期	99.28	S2	小林弘和	佐賀	91 期	100.00	S2	小林稜武	千葉	113 期	93.80
SS	古性優作	大阪	100 期	119.13	S1	川口聖二	岐阜	103 期	106.66	S2	伊勢崎彰大	千葉	81 期	101.96	S2	佐藤幸治	長崎	92 期	97.94	S2	磯島成介	青森	115 期	100.27
SS	新山響平	青森	107 期	114.97	S1	清水裕友	山口	105 期	115.64	S2	山口貴嗣	福岡	82 期	101.31	S2	山口貴弘	佐賀	92 期	102.03	S2	佐藤礼文	茨城	115 期	104.55
S1	桑原大志	山口	80 期	112.20	S1	隅田洋介	岡山	107 期	108.71	S2	台和紀	埼玉	83 期	94.48	S2	蒔田英彦	千葉	93 期	98.93	S2	寺沼拓摩	東京	115 期	101.00
S1	野田源一	福岡	81 期	111.23	S1	築田一輝	静岡	107 期	103.23	S2	藤原憲征	新潟	85 期	100.77	S2	連佛康浩	岡山	93 期	95.48	S2	三浦貴大	岐阜	115 期	93.81
S1	佐々木雄一	福島	83 期	110.88	S1	取島雄吾	岡山	107 期	107.52	S2	伊藤大志	青森	86 期	98.93	S2	伊藤勝太	愛知	95 期	95.13	S2	阪本和也	長崎	115 期	102.55
S1	笠松信幸	愛知	84 期	105.10	S1	末木浩二	山梨	109 期	103.07	S2	中村一将	兵庫	86 期	95.67	S2	相川永伍	埼玉	95 期	96.40	S2	櫻井祐太郎	宮城	117 期	102.65
S1	村上博幸	京都	86 期	113.83	S1	野口裕史	千葉	111 期	102.71	S2	三ツ石康洋	徳島	86 期	98.10	S2	高間悠平	福井	95 期	96.54	S2	梁島邦友	茨城	117 期	97.05
S1	福田知也	神奈川	88 期	106.73	S1	宮本隼輔	山口	113 期	96.13	S2	上吹越直樹	鹿児島	86 期	97.06	S2	内藤高裕	東京	96 期	0.00	S2	太田龍希	埼玉	117 期	101.63
S1	飯野祐太	福島	90 期	108.21	S1	伊藤颯馬	沖縄	115 期	110.76	S2	佐藤雅彦	宮城	87 期	94.53	S2	佐伯翔	福島	97 期	98.14	S2	小松原正登	福井	117 期	94.24
S1	近藤隆司	千葉	90 期	97.68	S1	石原颯	香川	117 期	106.06	S2	五十嵐力	神奈川	87 期	99.36	S2	西岡拓朗	広島	97 期	100.14	S2	兼本将太	熊本	117 期	98.21
S1	稲川翔	大阪	90 期	114.85	S1	犬伏湧也	徳島	119 期	115.81	S2	長田祐弥	神奈川	87 期	95.38	S2	藤岡隆治	徳島	98 期	97.95	S2	中島詩音	山梨	119 期	100.17
S1	池田憲昭	香川	90 期	98.25	S2	加倉正義	福岡	68 期	94.86	S2	山田和巧	神奈川	87 期	92.41	S2	横関裕樹	岐阜	99 期	106.08	S2	鈴木浩太	千葉	119 期	95.08
S1	阿竹智史	徳島	90 期	108.97	S2	紺野哲也	宮城	69 期	93.29	S2	阿久津修	栃木	88 期	95.74	S2	伊東翔貴	福島	100 期	97.66	S2	上杉嘉槻	福井	119 期	96.63
S1	永澤剛	青森	91 期	108.66	S2	丸山啓一	静岡	74 期	93.17	S2	荻原尚人	宮城	89 期	104.36	S2	笠松将太	埼玉	100 期	99.94	S2	渡口勝成	山口	119 期	100.63
S1	神山拓弥	栃木	91 期	110.25	S2	小林潤二	群馬	75 期	96.36	S2	佐藤朋也	秋田	89 期	95.65	S2	山本直	岡山	101 期	98.55	S2	上野雅彦	香川	119 期	103.42
S1	山下一輝	山口	96 期	105.10	S2	江連和洋	栃木	76 期	97.94	S2	山本健也	千葉	89 期	97.43	S2	渡邊豪大	福岡	107 期	103.31	S2	後藤大輝	福岡	121 期	104.95
S1	山形一気	徳島	96 期	105.96	S2	石丸寛之	岡山	76 期	98.19	S2	橋本勝弘	愛媛	89 期	92.15	S2	大石崇晴	大阪	109 期	102.42					
S1	柿澤大貴	長野	97 期	101.80	S2	開坂秀明	青森	79 期	97.88	S2	村田雅一	兵庫	90 期	106.16	S2	瀬戸栄作	長崎	109 期	100.59					
S1	中本匠栄	熊本	97 期	108.68	S2	萩原孝之	静岡	80 期	101.87	S2	金澤竜二	福島	91 期	93.89	S2	落澤鴻太郎	群馬	111 期	105.38					

取鳥 雄吾 (岡山/107期)

自力攻撃の破壊力にはなかなかのものが
ある。寛仁親王牌の2日目は一般戦ながら逃
げ切って勝ち星をゲット。ホームバンクなら仕
掛けどころも心得ているはずなので、上位戦
でも注意したい。



佐藤 礼文 (茨城/115期)

このところ伸びがいい。今期は決勝に乗
れていなかったが、9月大宮2②①着、10月
取手1②②着。目下のところ6走続けて連に絡
んでいる。今の脚勢ならG3開催でも活躍が
期待できそう。



後藤 大輝 (福岡/121期)

最終ホーム、バックの先制回数が多く、相変わらず競走は積極的だ。直近4カ月の連がらみの決まり手は 82%が先行してのもの。一次予選は主力になるし、二次予選でも先行力を発揮できれば怖い。



地元地区推奨選手

俺の出番だ!!



久保田 泰弘

(山口/111期)

機敏な立ち回りと鋭い差し脚が武器。8月京王閣G3で1①①②着と気を吐くなど、直近4カ月の連対率はジャスト5割を誇っている。今シリーズは師匠（山下一輝）と一緒に気合も入る。

山下 一輝

(山口/96期)

共同通信社杯では結果を出せなかったが、9月向日町記念の二次予選では、太田竜の快速まくりに食い下がり2着など調子に問題はない。当所は4月に参戦して3連勝したゲンのいいバンクだ。



車券の購入は20歳になってから。
競輪は適度に楽しみましょう。
競輪とオートレースの売上の一部は、
機械工業の振興や社会福祉等に
役立てられています。



周防国府杯争奪戦 出場予定選手

※2023年10月23日時点

[illegible]